

図書館ニュース

令和5年度 2月号

発行 古川高校図書館
担当 2-1・2-2
(図書委員会)

※著作権法に則り、一部画像を省略
しております。ご了承ください。

図書委員のおすすめ本

なれのはて

加藤
シゲアキ

1枚の絵画から巻き起こる、
人々の物語。戦争や大災害を経ての
人々の感情や、偏見の問題などが、
ありのままに描かれています。複雑な
人間関係の中で育まれる友情も見所!

NEWS 加藤 シゲアキ 最新作!!

『残念すぎるネコ』

沖 昌之

担当編集者さんの一言か
きかけで作成が台まった
ネコの写真集。ねこを「残念
すぎる」とも「人」とも思っていない
沖さんか、どこか人らしく、くち
と笑える可愛らしいネコを
通して伝えたものを
ぜひ見てみてください! 🐾

『オリент急行殺人事件』

アガサ・クリスティ

寝台列車オリент急行で
起こった殺人事件に探偵
ポアロが捜査に臨む!
だが、乗客全員には完璧な
アリバイがあった。
衝撃のラストとは!?

図書委員おすすめ本は
館内で展示・貸出しています。
(小説棚の上です)



多読賞

3年生

1年間の貸出数が3年生で最も多かった方を表彰します。

★1, 2年生の多読賞は3月の図書館ニュースにて発表します。

★賞状と図書カードが贈られます。

※氏名は配布版図書館ニュースでご紹介しました。



表彰状

モヤモヤしてない？

コミュニケーション 人間関係



3～4月は1年の中で最も人との関係づくりに気をくばる時期ではないでしょうか。

ちょっとしたことば使いや心の持ちようを知っておくだけで変わることがあります。そんな本を今回は紹介します。

表紙

『10代のうちに知っておきたい言葉と心の切りかえ術』

大野萌子/著

中高生のうちにたくさんトライ&エラーを経験することが大事。でも勇気がでない、という人におススメの本。無意識に使いがちな言葉をこんな風に切りかえみてはという例を紹介。

表紙

『元コミュ障アナウンサーが考案した会話がしんどい人のための話し方・聞き方の教科書』

吉田尚記/著

雑談が苦手。会話の後は落ち込む…。という人に具体的なアドバイスをしてくれます。あがっちゃても失敗しても大丈夫!なのです。

表紙

『SNSコミュニケーション』

浮世満理子/著

人となりをよく知っていないとSNS上のやり取りは誤解が生じやすい。上手なコミュニケーション方法、距離の取り方、トラブル相談などを掲載。

表紙

『人間関係ってどどういう関係』

平尾昌宏/著

家族や友人など身近な関係を一から捉え直すことで、息苦しさとかみしさを解きほぐす。

こんな本もおすすめ

『よけいなひとを好かれるセリフに変える言いかえ図鑑』

大野萌子/著 サンマーク出版

『話し方ひとつでキミは変わる』

福田健/著 PHP研究所

『「空気」を読んでも従わない 生き苦しさからラクになる』 鴻上尚史/著 岩波ジュニア新書

『友だち幻想』 菅野仁/著 ちくまプリマー新書

新着図書案内

分類	書名	著者名	出版社など	出版年
文学	人間標本 *人気作家、湊かなえさんの新刊	湊かなえ	KADOKAWA	2023
	となりのナースエイド	知念実希人	KADOKAWA	2023
雑学	54字の物語Q 意味がわかるとスッキリする超短編クイズ	氏田雄介/編著	PHP研究所	2022
地理	地図でスッと頭に入る中東&イスラム30の国と地域	高橋和夫/監修	昭文社	2022
社会教育	福祉って本当にこれでいいの？	金原知宏	みらいパブリッシング	2023
	心のなかはどうなっているの？ 高校生の「なぜ」に答える心理学	若松養亮 他	福村出版	2023
	いじめ防止法こどもガイドブック	佐藤香代 他	子どもの未来社	2023
医学	言葉はいのちを救えるか？ 生と死、ケアの現場から	岩永直子	晶文社	2023
言語	一度読んだら絶対に忘れない英会話の教科書	牧野智一	SBクリエイティブ	2022

…その他、下記の書籍 etc

表紙

『シャーロック・ホームズの凱旋』 森見登美彦/著

スランプに陥ったホームズが、京都の街で難事件に取り組む!? いったどんなお話なの?と思った人、ぜひ手に取ってください。ホームズ好きがグスツとするネタも隠されています。

表紙

『17歳のビオトープ』

清水晴木/著

奏杜高校の生徒たちは、謎の校務員・「人生先生」のところに悩みを相談しに行きます。恋と愛の違いは? 幸せって? 大きな問いの答えを探しながら、彼らは自分の「居場所」も見つけていきます…。

表紙

『十戒』

夕木春央/著

古高でも人気の、あの『方舟』著者による新刊! 島に集まった9人の関係者。起きた事件—。犯人がわかったら全員の命が失われる!? 恐ろしい「3日間」は始まった…。

表紙

『デジタルの未来図鑑』

岡嶋裕史/監修

AI、IoT、メタバース…デジタルの基本をイラストでわかりやすく解説。生活のどんな場面で使われているのか、使われる可能性があるのかなど、身近な例を知りながら学ぶことができます。

表紙

『ちょっとしたことでうまくいく発達障害の人が上手に勉強するための本』

安田祐輔/著

計画が立てられない、音が気になる等、困っていることは工夫で対処できる。当事者である著者からの豊富なアドバイスを掲載。

表紙

『16歳からのライフシフト』

リング・グラットン ほか/著

人生100年時代、生き方や学び方は根本的に変わる。学び、働き、余生というモデルはもう通用しない。高校生がこれからの生き方を考える上で手助けとなる本。

話題の本

芥川賞・直木賞
本屋大賞ノミネート本

1月中旬～2月上旬にかけて、毎年本好きには気になるニュースが発表されます。
それは・・・？

1月17日には、第170回 芥川賞・直木賞が発表されました！

『東京都同情塔』

九段理江/著

表紙

寛容論が浸透したもう一つの日本が舞台。犯罪者に寛容になれなれない建築家が仕事と心情との間で苦悩して…。

直木賞

『八月の御所グラウンド』

万城目学/著

表紙

京都で起きるやさしい奇跡。方向音痴の女子高生ランナーと、謎の草野球大会に出ることになった大学生の物語。

本屋大賞ノミネート

2月1日には、2024年本屋大賞ノミネート本が10冊発表されました！

「本のプロ」である本屋さんが一番売りたい、薦めたいと思う本を投票で決める「本屋大賞」。ノミネートされた本をいくつか紹介します。読んで大賞を“予測”してみませんか？

*本屋大賞は4月上旬に発表されます。

表紙

『リカバリー・カバヒコ』

青山美智子/著

公園の古びた遊具・カバヒコに伝わる都市伝説を信じて、悩みを相談しに来る人々。やさしくて、ちょっとずつ前に進もうかなと思える物語。

表紙

『成瀬は天下を取りに行く』

宮島未奈/著

思い立ったら実行する。人の目を気にしてあきらめたりしない。でも周りにもやさしい成瀬。そんな彼女に勇気もらえる本。

表紙

『黄色い家』

川上未映子/著

行き場所のない少女たちは「黄色い家」に集まり、共に暮らしていたが…。人はなぜ罪を犯すのか。

表紙

『水車小屋のネネ』

津村記久子/著

身勝手な母から逃げて山あいの町にたどりついた姉妹。しゃべる鳥ネネや隣人らに見守られ成長していく…。助け合い生きる人々の40年を描く。

表紙

『スピノザの診察室』

夏川草介/著

かつては大学病院で数々の難手術を成功させてきた医師の哲郎。今は地域の病院で働いている。幸せとは何か一彼の選んだものから考えてみたくなる小説。

- ★この他のノミネート作品もあります。
- ★展示・貸出しています。
- ★本校になかった本は現在注文中です。